

子育て日本一へ 大垣市がシンポジウム

大垣市は2日、子育て日本一を目指したシンポジウムを同市小野の市情報工房で開いた。約440人が詰め掛け、会場の参加者も加わって活発な論議がなされた。

関西大学政策創造学部の白石眞澄教授が「次世代育成支援のための環境づくり～職場・地域・家庭の役割」と題して基調講演。続いて猪口那子・元少子化担当相が「明るく、楽しく、安心して子育てができるまちづくり」のテーマで特別講演をした。その後、岐阜経済大学経営学部の竹内治彦教授をコーディネーターに猪口

氏や白石教授、小川敏大垣市長、母親代表ら6人が討論。大垣市が進める子育て支援策や企業の対



応、地域の子育て支援の大切さなどについて話し合った。【子林光和】

子育て日本一について活発に論議されたシンポジウム
＝大垣市情報工房で

子育て環境の 在り方を探る

大垣市でシンポ

子育て環境の在り方について考える「子育て日本一シンポジウム」(大垣市主催)が二日、同市小野の市情報工房で開かれ、元少子化・男女共同

参画担当相の猪口邦子さんや関西大学教授の白石真澄さん、小川敏市長らがパネルディスカッションを繰り広げた。

同市は「子育て日本一のまちづくり」を重点プロジェクトに掲げている。シンポジウムは市民、企業、行政が一体となつて考える機会を設けようと初めて実施。親子連れや高齢者ら約四百四十人が参加した。

猪口さんや白石さん、小川市長のほか、企業関係者や子育て経験者ら六人がパネリストとなり、岐阜経済大学の竹内治彦教授がコーディネーターを務めた。子育て日本一



「子育て日本一のまちづくり」に向けて意見を交換したシンポジウム。大垣市小野、市情報工房

目指せ子育て日本一

「子育て日本一の都市づくり」をまちづくりの重点プロジェクトに掲げる大垣市は、同日、同市情報工房で地域事情をふまえた子育て環境のあり方を考えるシンポジウムを開いた。

(中西康)

大垣市



大垣ならではの子育てのあり方を考えたパネルディスカッション＝大垣市情報工房で

シンポジウムで猪口元大臣ら講演

白石眞澄関西大学教授による「次世代育成支援のための環境づくり―職

場・地域・家庭の役割」と題した基調講演の後、猪口邦子元少子化・男女共同参画担当大臣が特別講演し「明るく、楽しく、安心して子育てができるまちづくり」のテーマで国内外の先進事例などを話した。

猪口元大臣は、地域で子育て支援をする福井県の子育てマイスター制度の内容や意義を説明。猪口元大臣は大垣市に対し、子育て支援に力を入れている企業を誘致するか育てることを勧めた。同市子育てコンサルタントで二児の母親の石原佳奈子さんは「行政には子育て中の親である当事者の意見を聞いてほしい」と要望した。

パネリストを務めた。小川市長は父親のため、土曜子育てサロン(サ

タバパサロン)や病気やけがの回復期にある子どもを一時的に預かる病後児保育事業など同市の取り組みを紹介。白石教授

入賞者に表彰状が贈られた。

特選は次の皆さん。

- ▽大人(子育て家庭) 藤井孝、野村秀香、八木一美、川口聡美、川口貴恵子、小四、杉村佳恵(北)、柳瀬望美(日新)、柳瀬由紀(同)、安田文明(江東)、水谷彰(宇留生)、小五、森史成(北)、川口綾美(日新)、池田侑李(江東)、小野貴司(日新)、斎藤笑里(江東)
- ▽小六 栗田泰斗(北)、沢晴公(赤坂)、大橋梨沙(西)、上田有里(宇留生)、今津明里(日新)、川中一、川瀬智久(北)
- ▽岡安誠斗(赤坂)、平林芽紅(江並)、山田智大(興文)、浜野葉那(東)、中二、ストーン・ジョン・翔(興文)、今瀬成将(東)、玉川陸(北)、佐々木望(興文)、園山友佳子(東)、中山三、山下千晴(東)、安藤悠樹(興文)、山内智恵(星和)、松原薫子(興文)、石川農(北)、高校生、山田那祥(大垣北)、馬淵大輔(同)、森瑛太(同)、小林拓也(同)、田中杏奈(大垣東)、名和美郷(同)、大橋香苗(同)、多賀香菜子(同)、古川実佳(同)、曾出涼太(同)、松岡美理香(同)、堀谷亜友美(大垣桜)、太田祐貴(大垣北)、今村仁美(同)、高橋美保(大垣桜)